

ダメ！絶対！ 薬物乱用防止教室

7月17日（金）、神町中学校の2年生を対象に、「薬物乱用防止教育」が行われた。

【主な違法薬物の種類】 コカイン（クラック）、マリファナ（グラス）、ヘロイン（スマック）、覚醒剤（アイス）、大麻（コーク）などがある。それぞれに別の呼び方があり、誘われるときにはこちらの呼び方で誘われるので、俗称（ぞくしょう）も覚えておいた方がいい。

【「乱用」とは】 法律で禁止・制限されている薬物を使用すること。1回でも使えば犯罪です。

【1番怖いこと】 脳が壊れ、元に戻らなくなる。幻覚（げんかく）が現れる。「皮膚の中に虫がいる」と言って自分の腕をナイフで傷つけたり、外に出て包丁で人を刺したりする。薬物は自分だけでなく家族を地獄に落とす。何でも頭に入り、何でもできる感じ。食べなくても、寝なくていい。ところがその後、体がバラバラになるほどの痛み、トイレにすら行けない疲れ、だるさが体を襲う。この状態を抜け出すため、また「薬物」を使う。「依存症」になり、人格が崩壊する。

【誰が勧めてくるのか】 友達や会社の同僚といった身近な人から勧められることが多い。「ダイエットできる」などの誘いから手を出すと、2度と抜けられない。

【フラッシュバック】 同じ芸能人が何度も薬物で捕まっている。抜け出したと思っても、何かのきっかけで再び薬物に手を出してしまう。1度手を出すと、一生抜け出せない。

【タバコも同じ】 未成年のタバコやお酒は薬物と同じ。大人はタバコを始めてから1年くらいで依存症になるが、子どもは数週間から数ヶ月で依存症になる。夏休みに入りタバコを吸い始めると、夏休みの終わりには依存症になってしまう。だから、日本では20才になるまで法律で禁止されている。法律は、みんなを守るためにある。

【もしも仲間に誘われたら】 仲間に誘われたら、きちんと断ることが大切。断る言葉を何回も言う。理由をつけて断る。「いい子ぶっちゃって」「仲間だろ」などと言われても、はね返す。インターネットのうその情報にもだまされるな！

【社会や学校のルールを守る】 社会や学校のルールを守って生活する。ルールを守っている人は、ルールに守られる。困ったら大人に相談しよう。



僕の祖母は20年くらいタバコを吸っていましたが、1年前に止めました。タバコの依存性を学んで、祖母はすごいと思いました。普通のかぜ薬でも大量に使うと薬物乱用になることがわかり、医者や説明書の指示に従って使うようにしたいと思いました。薬物にはたくさんの種類や呼び名があり、この言葉を耳にしたらすぐにその場から離れようと思います。（小野奏和）

小学校の時も薬物乱用防止教室がありましたが、その時はまだ薬物の危険性がよくわかりませんでした。しかし、薬物による脳の破壊や精神異常などの作用を学び、どんなに危険なものなのかを改めて知ることができました。薬物だけでなくタバコなど身近にあるものも、薬物と同じように恐ろしいものだということがわかりました。（中村愛瑠）